

告公集募式社會式株業工產水城磐

一、會社設立の趣意並に目的

百万金を投じて築港の造營を計りたる小名濱漁港は今や理想的に完成し正に第二期工事も企圖せられ前途の展望益々著しく幾多企業家の大活躍を促しつゝあり須く茲に時代に適應せる企業を起し一段の活躍をなすこと實に機宜を得たるものと思惟す

由來本邦は人口増加に於て世界無比の高率を示すに從つて是が食料品の供給不足に對しては識者の常に憂慮せる所にして到底食料問題の高唱せらるゝ所以なり然るに本邦は其國土狹隘にして到底陸産物のみに寄依するを許さず幸にも四面環海世界漁場の首位を占むる本邦は水産業の發達及水産物の冷蔵保管等に依り一面食料問題を緩和し且つは又巨大の利益を見る事疑はざる所なり於茲吾人相謀り本會社の創立を企圖せる所なり

一、本會社の有す特典及特長

一、水産物冷蔵補助規定に依り冷蔵装置の三分の一以内の國庫補助を受くる事を得

二、漁獲物豐漁の場合に於ては比較的低廉なる價格を以て魚類を冷蔵庫に收納し不漁の場合市場に向け販賣し又は製造加工し確實なる利益を收むる事を得

三、豐漁時に於ける魚類の冷蔵一面食料問題の緩和を計に實に國家的の奉仕を完成し得

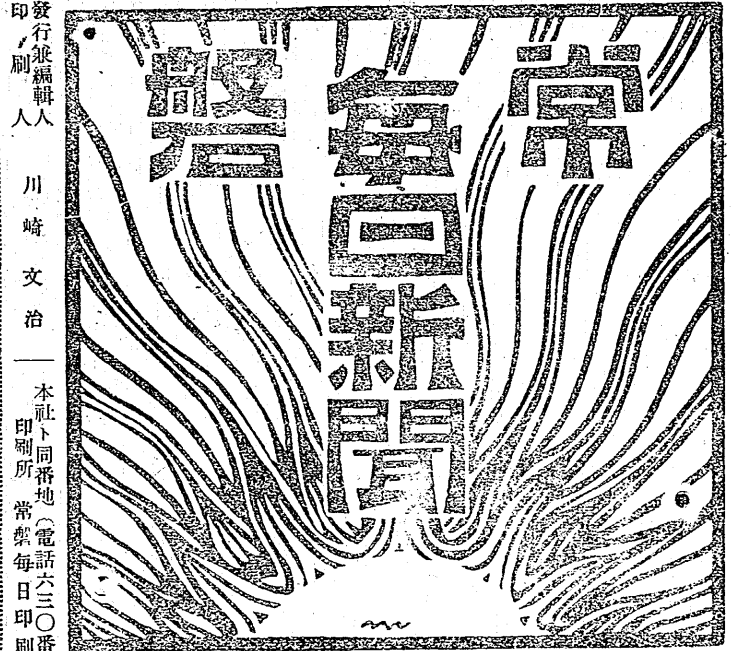
四、冷凍法に依り貯藏收納せるものは流行病蔓延にして安全に保健食料品として吾人の食膳に供給する特長を有す

株式募集の要項

- 一、資本總額 金壹百萬圓也
- 二、募集の株數 五千萬株也
- 三、株式第一回拂込金額 拾圓五拾錢也
- 四、申込證據金併算 (申込證據金併算)
- 五、株式第一回拂込金額 拾圓五拾錢也
- 六、申込證據金併算 (申込證據金併算)
- 七、申込證據金併算 (申込證據金併算)
- 八、申込證據金併算 (申込證據金併算)
- 九、申込證據金併算 (申込證據金併算)
- 十、申込證據金併算 (申込證據金併算)

株式申込を取消し得べき時期
大正十五年四月卅一日迄に會社が成立せざる時は株式の申込を取消す事を得

- 創立委員 長 小野 晋 平
委員 田野 宗 太
邊田 成 繁
入渡 金 邊 成 繁
田倉 崎 宗 孝
鷹崎 才 眞
山野 崎 與
白井 與
諸橋 守 博
三
- 次之郎助衛雄通郎吉平



刊夕日九十二月十

常磐論壇

利權本位の政治

田中五郎

君主獨裁とか貴族專制とかいへば誰しも野蕃時代の遺物である歴史上の事實に止まるものとして一笑に附し去るのであるが何ぞ知らん立憲政治の今日に於て形式こそ多少の相違あれ其の實質に於て貴族專制が行はれ或は少數政治が公然と行はれ或は又閥族政治が等々の眼前に展開せられてをるのである即ち最近清浦内閣は貴族政治の出現として國論を沸騰せしめたが其以前に

は軍閥政治が可成り長き生命を有してゐた而して是等の特權政治を排撃しデモクラシーの時潮に悼さして漸次に擡頭し來れる政黨は昨年の護憲運動以來遽に大勢力を示すに至り今や政黨員にあらざれば共に政治を談するの資格なしといふが如き狀況を呈してをる然らば是等の政黨は果して國民多數の意見を代表するかといへば事實は全然反對にして六千萬國民中の僅に三百萬の所謂資産階級によりて選ばれたるものである而も選舉界の腐敗は三百萬有權者の公正なる自由意志を認むること能はずして利權によりて左右せられ不正に行行使せられたものあるといふことは争ふべからざる所である

一種の營利會社の如きもので其の數十萬乃至數百萬の黨員は正に株主ともいふべきである、而して政黨の幹部は會社の重役にも譬ふべきもので彼等の多くは金の力によりて多數の見分を養ひ其勢力を示してをる此の結果が又必然的に政黨の目的をして利權本位に傾かしむるといふことは争ふべからざる所である (つづく)



移轉謹告

平吉 町電 平吉 町電 平吉 町電

隣り 店商 件吉

美術石版 (電話五三三番)

三國屋印刷所

高野吉太郎

開二十週年紀念

謝特價大賣出

十一月三十日より五日間

防寒用季節品

足袋ノリヤス類

破格特價提供

「小學生運動着足袋仕立物」

メリヤス類特に割引致します

丸屋足袋店

平町一丁目

紅葉のシーズン!

貸切、乗合の御用命は

電話四十七番をお呼願ます

迅速と勉強は本店の自慢です

男女助(十五歳より)

手募集(十八歳まで)

芹澤自動車部

停留場 磐城銀行向

公周旋業

電話 七〇三番

新設 **滑川敏之補**

平町新田町

「齒並び自慢會」

審査長は誰れが適任か
奮つて御投票を乞ふ

本社は今同印刷部を設けた記念として一つの催しを試みる計畫で茲にお知らせ致します。夫れは身体の強健を企ふる上に於て口腔の衛生を忘れてはならぬと云ふ趣旨に基いて開く「齒並び自慢會」であります。つまり丈夫な齒並びの人を優勝者とし賞金や賞品を贈つていさゝか口腔の保健に貢献する企てであります。日時や場所其他具体的な事項は改めて発表しますが其前に先づ以つて「審査長を誰れにしようか」に就き廣く讀者諸君の御希望をお聞きしたいと思ひ投票の形式でその氏名を募ります。ぜひ左記要項に依り奮つて御投票あらん事を望みます。

(審査長候補者) 平町在住の齒科醫一名(宛名) 平町長橋町卅五、常警毎日新聞社(締切) 本月卅一日(用紙) 隨意(注意) 投票點數は随時發表し最高點者に審査長を囑託す

- 第三回得點發表
- | | |
|-----|--------|
| 六八票 | 萩原義雄君 |
| 二〇票 | 佐藤武之君 |
| 五票 | 原精一君 |
| 四票 | 森合芳男君 |
| 一票 | 織田豊太郎君 |
| 一票 | 遠藤爲吉君 |

魚は三割方安いが さつぱり賣れぬ
コレラの代りに不景氣風

魚はコレラが終熄したこの頃では需要が元々通りになりましたが不景氣のため賣行がハカ／＼しくありません、しかし魚はコレラの間獲り手がなかつたので大變繁殖し殊に小魚類は掃く程獲れるので鱒なんかは八尾十錢、海老は一尾一錢位の

秋刀魚は今出盛り
安い値段でその他大きな魚もコレラ流行前より三割方安く秋刀魚は今年も氣候がたわくたわくの一ヶ月ばかりたわくたわくがやつと出盛りです。一尾三錢から四錢まで、生きのいゝのが買はれます。

平町々勢一班 平町

十年間 收穫が皆無

石城郡一圓を管區とする平稅務署では去る十三日以来窪川直稅課長及升井、渡邊兩屬の甲乙丙三班に分れ去る八月十五日以來數回の出水によるもの

其他管内 二十ヶ町村に亘る收穫皆無地二千五百筆、荒地五百筆の實地検査に従事し去る二十六日を以て全部終了目下書類の整理中で反別その他は兩三日中に

判明する さいふが三班的検査成績を綜合したる概略を聞くに「本年八月の降雨出水により比較的多くの被害ありたるは下小川赤井、平窪、夏井等主として夏井川沿岸に多く殊に堤防五十間の缺壞により埋没流失 等多大の損害を被つた赤井村大字赤井南江原地先等は出願廿九筆に對して短きも三年長きは十年の免租年限を附與した様な有様である藤原川及湯本、湯川の合流點川下の玉川村邊にも相當の荒地が出来たが前記各村に較べるとその程度は比較的輕微で免租の期間等も随つて短年限である尙この機会に於て昨年十二月より本

常警炭協議 救済ご合併

石炭礦業聯合會は二十八日緊急總會を九ノ内工業俱樂部に開き常警炭礦業聯合會磐城、入山、古河、大日本三井、茨城の各會員は茨城

平町から各地に打った 電報の到着時間

平郵便局にて去る十五日各地に打つた電報の所要時間を調査した結果に依ると左記の如くである

- △大泊二時間△旭川一時間
- △分△函館一時間十一分
- △青森縣一時間三分
- △宮城縣高崎八分△千葉縣館山八分△栃木縣小
- 山一一分△埼玉縣川口卅四分
- △東京府中野一時間二分
- △分△手込一時間十二分
- △分△桑名一時間十七分
- △難波一時間四十一分△濱松一時間一分△三宮四十分

豊間役場上棟 石城

那豊間役場上棟式は廿九日



家庭欄

痔疾の方へ
お寒さが加わると同時に痔持ちの方は起り易うございませぬ。痔位等と放つて置きますと、身体はだん／＼に

地表に著 じき變動

を生じた大野村大字白岩地内の陥没地も實地調査の上被害園内十三筆中の四筆に對しては夫々三年間宛の免租年期を附與した

京阪の旅から

十月廿三日 (第四信)
平商京阪旅行團
海氣の漂ふ二見の曉景に目を覺まして午前六時二十四分と云ふに名譽盡きない二見浦を辭して、奈良に向ふ。屹とした山清らかな溪流に「磐城の耶馬溪小川郷を見る様だなア……」などと讚美し處變れば品變るで車中の人の語り聲から停留場の中賣の呼までが珍らしい刺戟

採炭、磐城炭礦合併に依る聯合大會理事決定に關する協議會を開いた結果阿部吾市氏を理事長とする事に可決して散會したが常警地方の炭礦合併は今後も漸次實現を見る模様で炭界不況と共に有力炭礦の合併は各地にも弗々と計畫するに至るであらうと

長橋に衝突

危ふく轉落
今朝七時頃石城郡内郷村磐城炭礦の炭カス運搬自動車内郷村より平町へ向け疾走し來り尼子橋を渡り切らんとした際運轉手がハンドルを誤つて廻した爲め急に左へ傾き橋のランカンに衝突一間余を破壊し危く橋下に墜落せんとしたが辛じて事なきを時た

炭塊落下し

其場に慘死
石城郡内郷村大字宮字平太郎居住茨城縣東茨城郡鯉淵村生れ磐城炭礦後山渡邊虎三郎(三)は廿六日午後八時頃同炭礦第一斜坑に於て支柱作業の傍らを通行の刹那大炭塊落下し重傷を負へ死亡した

娘の搜索願

家内もめから家出
石城郡内郷村大字宮字金坂橋辰之助長女ハツエ(三)は去る二日朝家内揉めから無斷家出した儘行衛不明になつたとて此程か平署に搜索方願出た

を施し腰部を暖かくして寝てゐるやうにしますと早く治ります。こう門部は毎日排出される便によつて絶えず刺激を受け且汚染されて不潔になり易く又は下衣でまさつされ易いので自然治りにくいのですから、一日も早く醫者に見て頂くのが肝要です

を與へられてなど努鳴る中に海抜八百二十八呎八寸時であつた松尾芭蕉の誕生地なる柘植驛を過ぎ笠置驛に後醍醐天皇の行在所を想起し十一月十八分早くも奈良着の合圖に下車。奈良は開いたに床しい、奈良をぞろぞろと案内者に従へて行く先づ猿澤の池に安女の衣懸の松を見興福寺の塔を左に仰ぎ春日神社を拜し角を切つた愛らしい小鹿が懐しさうに鼻を鳴らしてついて来る。無數の石燈籠の間を通つて嫩草山を眺めながら三月堂二月堂を詣で力餅を食へては

ゴーンと叩く餘韻、濁々として響き渡る。これより五丈三尺の日本第一の大佛に驚き且つ我が國の美術の誇りを感ぜられる。これより停車場に急ぐ午後二時五十分には奈良の地と別れて約一時間にして天王寺に着いた。加藤直一先生の御出迎へに謝して先生の御案内で天王寺公園四天王寺等を参詣して後ら阪神電車にて神戸に向ふ宿は戒井館だ。奈良の見物でなか／＼の強行軍で疲れてゐても眼は承知しないので夕食後神戸の夜景を見る

問題 暖帳 来る